

BASF と中国石油化工集団(SINOPEC) 中国最大規模の石化プラントの操業を南京で開始

2005年6月30日

- スチームクラッカーと9基の川下の製品向けプラントが生産をスタート
- アジアでの利益成長に大きく貢献

BASF(本社:ドイツ・ルートヴィヒスハーフェン)と中国石油化工集団(SINOPEC)の折半出資の合弁会社 BASF-YPC 社はこのほど、中国・南京でスチームクラッカーおよび、9基の川下製品向けのプラントから成る統合石化拠点「フェアブント」の商業生産を開始いたしました。220ヘクタールに及ぶ広大な生産拠点では、急成長する中国市場向けに年間170万トンの高品質な化学品とポリマーを生産します。同フェアブントへのこれまでの投資総額は29億ドルに及びます。

140年に及ぶBASFの歴史の中で、南京のフェアブントは単独の投資案件としては最大規模であり、アジア太平洋地域におけるBASFの戦略上、不可欠な生産拠点です。BASFは、2010年までに全世界での化学品事業の売上と利益の20%をアジア太平洋地域で占め、さらにその20%の売上、利益の内、70%を現地での生産で賄う目標を掲げています。南京に新設されたフェアブント拠点は、この目標達成に向けて重要な役割を担います。

2001年9月の工事着工以来、基本的な機械設備の設置は2004年末までに完了し、顧客向けの生産は2005年1月から開始しました。拠点の操業を4年未満で開始できたのはBASF-YPC社にとっては大きな成果であり、その実現にあたり親会社のBASFとSINOPECのみならず、中国政府からの支援が不可欠でした。

このスチームクラッカーの主要製品はエチレンとプロピレンで年産能力は60万トンです。これらは川下製品向けの原材料として使用されます。生産行程でのエネルギー供給と、生産物のロジスティクスの最適化を図るために、拠点にはガス発電所と揚子江支流の国際港も備えられています。建設のピーク時には、22カ国からの技術者と1万5,000人の労働者がプラントやインフラストラクチャーの工事に携わりました。

フェアブントについて

南京の拠点は、BASFがドイツ・ルートヴィヒスハーフェン本社に持つフェアブントと同様の概念に基づき建設されました。BASFのドイツのフェアブントは、単一企業では世界最大の化学品生産施設です。フェアブントの概念とは、製造プラントを互いに結びつけることにより、製品、副製品、エネルギーの利用効率を最大化し、コスト効率を高めるとともに環境への影響を最小限に抑えることです。これにより、BASF-YPC社は地域経済と中国の化学業界の持続可能な発展に貢献します。

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒102-8570
東京都千代田区紀尾井町3-3
TEL: 03-3238-2341
FAX: 03-3238-2514
URL: <http://www.basf-japan.co.jp>

南京のフェアブント拠点の写真データをご用意しておりますので必要な方はBASF・田所(たどころ)電話/03-3238-2341)までご連絡ください。

■BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。BASFの製品群は、化学品、プラスチック、高機能製品、農薬、ファインケミカルから原油や天然ガスに至るまで多岐にわたります。あらゆる業界のパートナーカンパニーとして信頼されているBASFは、高度なソリューションと高品質な製品によって、顧客のさらなる成功をサポートしています。BASFでは、新技術の開発とそれらを使用することで、新たな市場を切り開いています。また、経済的な成功と環境保護、社会への責任を融合させることでより良い未来に貢献しています。2004年度は約8万2,000人の従業員を雇用し、370億ユーロ以上の売上高を計上しました。BASFの株式はフランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)、ニューヨーク(BF)、パリ(BA)、チューリッヒ(AN)の各株式市場において取引されています。同社のインターネットホームページアドレスは www.basf.com です。BASF ジャパン(株)のインターネットホームページのアドレスは www.basf-japan.co.jp です。

■本件についてのお問い合わせ先

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ 田所(たどころ)
Tel. 03-3238-2341